



地域に“サンマ”を生み出す

子どもにはサンマがたくさん必要！とよく言われます。「時間」「空間」「仲間」。これは子育て真っ只中の保護者にも必要ですよ。そして赤ちゃんのいる暮らしには、「手間」をかけ、「隙間」「合間」の工夫ができたらいいのになあ。

そんな暮らしを伴走してくれるサポートがたくさんできています。NPO法人せたがや子育てネットでも昨年「ホームスタートぷちぷち」がボランティアによる協働と傾聴の訪問活動をはじめています。「はじめの100か月の育ちビジョン」にあるように、子どもを取り巻く社会や環境の厚みを増すような市民のボランティアな活動をどんどん地域にひろげていきたいと思っています。



代表理事 松田妙子

<「とうきょうプレイデー」に参加しました>

遊ぶことの大切さをたくさんの人と共に感じ、考えるキャンペーン「とうきょうプレイデー」。

子どもにとって「遊び」は本能の営みであり、子どもたちは遊びを通して、自らの生きている世界を学んでいくもの。にもかかわらず、その大切な営みの時間が、さまざまな「大人の事情」で失われている現状について、あらゆる立場の人が考え、つながり、一緒に遊び、実際に行動を起こすきっかけを作ろうというものです。

毎年、10月1日の都民の日を中心とした前後の期間に、都内全域でさまざまな「プレイデースポット」が誕生します。今年は9月28日～10月6日の9日間がプレイデーWEEKとなり、94か所のプレイデースポット登録があったそうです。せたがや子育てネットも、おでかけひろばを中心に取り組みに参加しました。



寒天と春雨、気持ちいい！
片栗粉はギュッとするとろける触感に大人もびっくり。フルイドアートではゆったりとしたひと時を楽しんでいました。
(おでかけひろば ぶりっじ@rokaでのプレイデーの様子)

<せたがや子育てネットの動き 2024年7月～10月>

- ◆令和6年度保育サポーター養成講座開催(6月-7月)
- ◆赤ちゃんとのふれあい体験授業@烏山中学校(7/3、7/5、7/10)
- ◆第2回区民版子ども子育て会議「土肥潤也さん来る！学童期・若者の居場所マッピング」開催@三茶キャロットタワー(7/30)
- ◆里親研修(8/2)、里親演習(8/3)
- ◆せたがや ふるさと区民まつり出展@馬事公苑(8/3-4)
- ◆こども家庭庁 おでかけひろば ぶれす視察(8/17)
- ◆社会教育実習、夏の体験ボランティア、インターン、卒論協力など夏休み期間に学生を受け入れ(8月)
- ◆第3回区民版子ども子育て会議「条例と計画の素案ができた！！」開催@梅ヶ丘うめとびあ(9/19)
- ◆とうきょうプレイデー ぶりっじ@roka参加(9/28～10/6)
- ◆赤ちゃんとのふれあい体験授業@八幡中(10/7)/上祖師谷中(10/9、10/23)
- ◆世田谷区地域包括ケア研修(10/9)
- ◆すくすくコンパス 第2回「こどものいる暮らし～お父さん編～」講師:西川正氏(10/20)
- ◆烏山地域蘆花まつり ぶりっじ@rokaブース出展(10/27)
- ◆こども天国@経堂コルティ(10/30)
- ◆「ホームスタートぷちぷち」第二期訪問ボランティア養成講座開催(9-11月)

<松田妙子代表理事 登壇>

- ◆川崎市こども未来局研修(7/24)
- ◆静岡県ふじのくにNPO活動支援センター講演&ワークショップ(8/9、9/11)
- ◆社会的養育地域支援ネットワーク 設立記念フォーラム(9/27)
- ◆こども家庭庁職員向け勉強会(10/28)(今後の登壇予定)
- ◆NPO法人子育てひろば全国連絡協議会主催 地域子育て支援拠点研修 東京開催(2025/1/26) 現地事務局も担当
- ◆第7回FLECフォーラム(2025/3/14～3/16)

「ホームスタートぷちぷち」第二期訪問ボランティア養成講座が無事修了し、3名のビジターさんが誕生しました！

「ホームスタートぷちぷち」は地域の子育て支援者が、傾聴と協働を大切に親子に寄り添い、支える訪問子育て支援ボランティアです。9月26日～11月14日の全8回講座を無事修了された3名の皆さんが、今後、小さな子どものいるご家庭を訪問し、交流しながらサポートするホームビジターとしてご活躍いただきます！

この夏も、学生インターンを受け入れました！

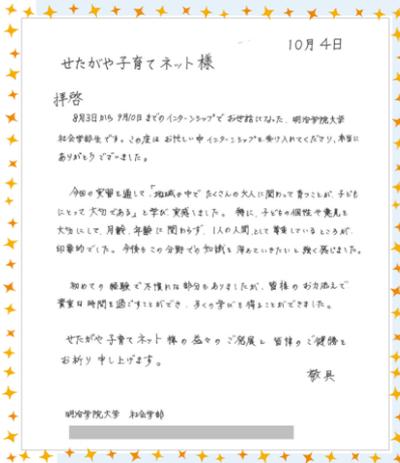
2024年8月から9月にかけて学生インターンを受け入れました。おでかけひろばの活動や地域イベントに参加し、交流しながら、地域の子育て支援について学びました。
インターンに参加した学生たちと、受け入れたおでかけひろばスタッフの声を紹介します。



私は社会教育実習生として、「おでかけひろば ぶりっじ @roka」で約3週間実習を行いました。この期間に感じたぶりっじの魅力を紹介いたします。

一つ目は、スタッフと、おでかけひろばを訪れる人々が対等な関係を築いていることです。スタッフが上から目線になることはなく、またスタッフがすべてをやってあげるわけでもありません。支援する・されるという二項対立的な関係性がなく、「共に」過ごす場であると感じました。
二つ目は、どんな時でも温かく迎え入れてくれる点です。久しぶりに訪れた人や初めての人にも、忙しい時でも「こんにちは！」と優しく声をかけてくれるので、ぶりっじのドアを開けた瞬間にほっと安心します。短い時間の実習でしたが、まるで新しい地元が増えたような感じがします。

明治大学 文学部 M.Y



～おでかけひろば ぶりっじ@roka スタッフより～

ぶりっじは例年夏休み期間にボランティア体験の受け入れをしています。今年は中学生から大学生まで計15名の学生が各1～4日間、更に実習の大学生が1名活躍してくれました。ボランティアの学生は、1日の目標を決めて活動します。初めは緊張の面持ちですが、好奇心旺盛な乳幼児の子どもたちは学生さんに興味津々で、ふれあいが増えるたびに笑顔も増えていきました。保護者の方々との交流も大きな学びとなったようです。



◀明治学院大学社会学部生の皆さんより
参加後に丁寧にお手紙を頂き、感謝です！



～おでかけひろば まーぶる スタッフより～

まーぶるで行っている小学生の居場所、「まーぶる文庫★宿題タイム」では大学生に数多く携わってもらっています。最初こそ距離感があったものの、今ではそれぞれあだ名もつき、私たちスタッフよりも近い距離感で、宿題の見守りと将棋・ボードゲーム等にいそしんでいます。大人だからといって手加減しない真剣勝負が繰り広げられています。子どもたちのじゃれつき愛情表現も激しいものですが、誰もひるまない月2回の小学生のいい居場所となっています。



“まちの縁がわ” ばんぶくテラマチ



ばんぶくテラマチでは、夏休みに小学校ボランティアさんたちが来てくれました。

みんなと交流できてよかった

いろんな人と話げできた

ばんぶくみみたいな少人数がちょうどよかった

意外にお手伝い、おつかいが楽しかった

あまり、お年寄りと話をする機会がなかったから、はじめは緊張したけど、逆にもっと話したくなった

法人設立20周年スピンオフ企画★

～おでかけひろばの変遷に見る せたこそこのこれまでと今～

NPO法人せたがや子育てネットは、2004年11月の設立から20周年を迎えました。これまで共に活動してくださった皆さま、応援やサポートをしてくださった皆さま、関わってくださった皆さまにあらためて感謝と御礼を申し上げます。

また、20年の節目に法人パンフレットを新たに制作しています。11月29日の20周年記念パーティでお披露目予定です。お手に取る機会がありましたら、ぜひこれまでの歩みをご覧ください。ただけたらと思いますが、ここでは、せたこそが多様な活動の中でもベースであり、現在区内5か所で運営する「おでかけひろば」について、活動開始からこれまでの変遷をご紹介します。



2001年 任意団体「ママパパぶりっじ」として活動開始



最初に作成した団体のホームページ。子育てをする人たちが子育て情報を共有したり、まちをもっと便利にしていけるための情報交換の場として活動をスタート

世田谷区地域子育て支援コーディネーター中間支援センターおよび烏山地域受託

地域子育て支援コーディネーターを受託し、運営するおでかけひろばとも連携した、より丁寧な支援が行えるように。現在は烏山地域・玉川地域・中間支援センターの運営を担当



2004年 11月に法人化し、NPO法人 せたがや子育てネットとなる



子育て世代自らが「子連れおでかけマップ」を作成する活動「子育て情報メッセンジャー」を展開したり、「世田谷子育てメッセ」を区の委託事業として開催するなど活動を拡大

2015年

「おでかけひろば ぶりっじ@roka」 世田谷区補助事業化



自主運営の活動が行政との信頼関係構築にもつながり、児童福祉法に基づく地域子育て支援拠点になりました

2017年～

- 2017年「おでかけひろば まーぐる」を瀬田2丁目にオープン
- 2018年「おでかけひろば すぷーん」を深沢2丁目にオープン
- 2019年「おでかけひろば おりーぶ」を奥沢2丁目にオープン
- 2023年「“まちの縁がわ” ぶんぶくテラマチ」を北烏山5丁目にオープン (高齢者を中心とした多世代交流型)
- 2024年「おでかけひろば ぶれす」を宮坂3丁目にオープン



▲おでかけひろば おりーぶ



▲“まちの縁がわ” ぶんぶくテラマチ

2006年

下北沢一番街商店街と区とNPOの協働プロジェクトとして「コミュニティカフェぶりっじ@shimokita」を下北沢にオープン



今のおでかけひろばの前身、始まりはココから。念願だった子育て世代が安心して過ごせる場、情報交換の場を、商店街の中にオープン

「キッズスペースぶりっじ@roka」を南烏山に立ち上げ

2010年



芦花公園駅近くのUR団地内のスペースを使える！と聞いて、すぐに「ぶりっじ@roka」の開設を決断。UR都市機構との協働で、ひろばの自主運営を開始



▲おでかけひろば ぶれす

「ぶりっじ@roka」での実践経験を活かしながら一軒家、公共施設の一角など、それぞれの特徴を活かして地域の人たちと一緒に作るひろばを各地に開設。多世代交流型など、新しいスタイルの居場所づくりにもチャレンジ

連載！～オール世田谷の仲間たち～

せたがや防災NPOアクション

NPO団体同士、顔の見える関係を築き、災害発生時に団体同士の連携が図られるよう、平時よりネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。活動テーマごとに5つの分科会があり、せたがや子育てネットさんには、女性・子ども子育て分科会をリードいただいています。

災害が起きた後の課題は日常の課題の延長線上です。そのため、見えにくいことも多く、なかなか自分でSOSを出せない方が出てきてしまいます。そうした、支援の漏れ、抜け、偏りを無くすために、安心して相談できる窓口を担ってもっています。

ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。



▲地域のイベントにブース出展
◀防災イベントで“さらしておんぶ”



発災時は山下駅の隣、「たま電カフェ」を拠点に



一般社団法人TOKYO PLAY

TOKYO PLAYは、<「遊ぶ」の力をすべての子どもに>という理想を掲げ、Play Friendly Tokyo～子どもの遊びにやさしい東京～の実現のために活動しています。

2010年の任意団体設立時には、「NPO法人せたがや子育てネット」内に事務所をかまえてスタートしました。

毎年10月1日の「都民の日」を中心にした遊びのキャンペーン「とうきょうプレイデー」、プチ歩行者天国を通じた多世代交流「とうきょうご近所みちあそびプロジェクト」などを中心に、子どもが遊べる東京の普及啓発に取り組んでいます。

また、東京都の子ども・若者へのヒアリング、海外スタディツアー、2023年の統一地方選挙時に遊ぶことの大切さが社会の課題となるように訴えた緊急政策提言など、さまざまなプロジェクトを実施しています。



子どもが遊ぶ環境を社会としてよりよくしていくためのメニュー集として、“遊びのマニフェスト”を作成

せたがやこどもフードパントリーからお知らせとおねがい

「せたがやこどもフードパントリー」は、せたがやの子どもの食の応援プロジェクトです。2020年4月～2024年6月末までに165日間413回、のべ約31,000食を提供し、現在も未就学から高校生世代まで約190家庭330人の子どもたちが利用しています。

今年も子どもたちやそのご家族が健やかに過ごせますよう、みなさまのご支援をよろしくお祈りします。ご寄付の詳細については、ホームページにて記載しております。ご協力よろしくお願いいたします。



せたがや子育てネットにジョインして、子育て環境を一緒につくりませんか？

子どもの名前をたくさん知っている大人や、ちょっとしたことでも地域に関心や役割を持つ人が増えると、子どもを通じて街が豊かになります。一緒に地域の子育て環境をつくりませんか？

賛助会員： 入会金なし、年会費 3,000円(個人) 10,000円(法人)

寄付： 任意の金額でかまいません。どのような金額でも歓迎いたします！



【編集後記】法人設立20周年にあたり、この2か月ほどは新たに制作するパンフレットや記念品、20周年記念パーティ、団体スタッフが大集合する会などの準備が次から次へと・・・で、いつにも増しておおわらの事務所でした(笑)でも、こうしてみなさんと一緒にお祝いできることが、なによりのご褒美になります♪